

1 白子町が目指すまちづくりの将来像と将来都市構造

(1) 白子町が目指すまちづくりの将来像

白子町都市マスタープランは、上位計画である白子町第5次総合計画後期基本計画と同じ将来の方向を見据え、まちづくりを進めていく必要があります。そのため、本計画では白子町第5次総合計画後期基本計画の基本構想「笑顔 元気 ずっと暮らしたい町 しらこ」をまちづくりの理念とします。

そのうえで、その実現に向けたまちづくりの将来像を、第1章の現状及び第2章の今後のまちづくりにおいて求められることを踏まえ、次のように設定します。

<白子町が目指すまちづくりの将来像>

いきいきと暮らしやすく、訪れたいくなる
白子版コンパクトシティの実現



<今後起こり得る白子町の変化>

人口減少の進展により町全体の人口は、さらに減少することが予測されています。それにより、町内に立地する都市機能（商業、医療、福祉、行政サービス等の生活支援施設）は、利用者の減少により維持が困難になることが想定されます。

人口減少や少子高齢化の進展に伴い税収の減少や社会保障費の増加が進めば、まちづくりを行うための投資は将来さらに難しくなることが想定されます。



- ・ 県道茂原白子バイパスの整備
- ・ 公共施設の老朽化や小学校統合による公共施設再編等

<白子版コンパクトシティとは…>

「持続可能な白子町」と「町民の生活利便性の維持向上」を両立するために…

▼まちの姿

- 1 今後整備される県道茂原白子バイパス沿いに、町民の生活を支える都市機能を集約した拠点を形成し、各地域と公共交通等で結ぶ

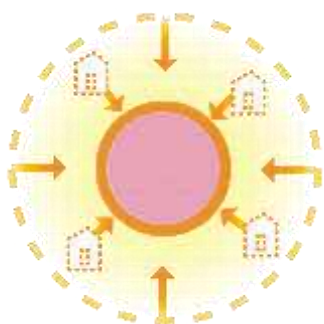
- 2 県道茂原白子バイパス沿いに産業（工場、物流施設等）を誘致する

- 3 県道茂原白子バイパス及び飯岡一宮線に複数の交流拠点を形成し、町民と来訪者（観光客等）との交流を促す


▼町民の生活、来訪者に対する価値

- ◎ 生活に必要な機能の集約により高い利便性が確保され、車に過度に依存しなくても生活できる
- ◎ 産業の誘致により人口の流入や働く場を確保する
- ◎ 町民同士、町民と来訪者との交流により、地域経済の活性化を図るとともに、町民の生活の質（QOL）を高める

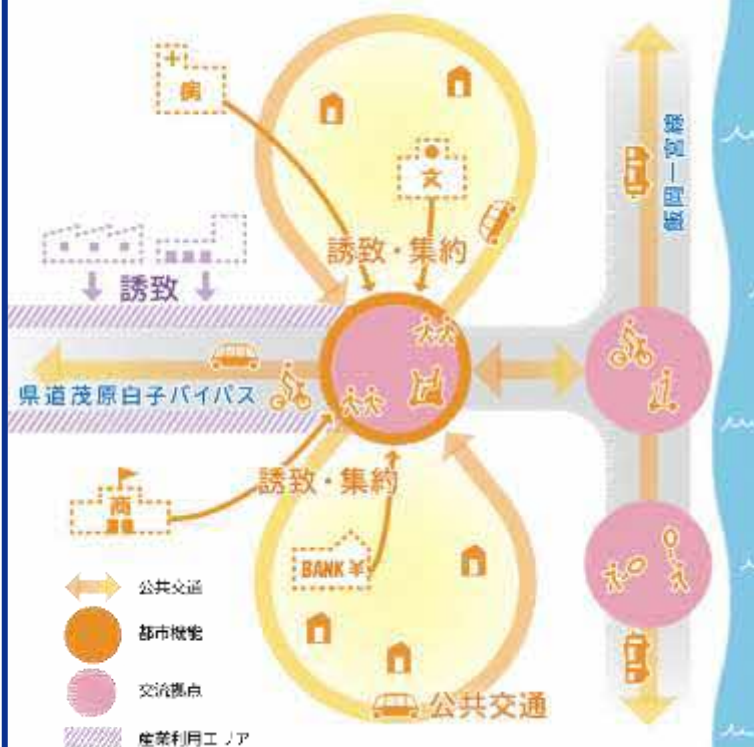
都市のコンパクト化



居住や都市機能を集積し、生活利便性の維持・向上や行政コストの削減を図ります。

- 白子町が目指す「白子版コンパクトシティ」は、広域からのアクセス性の良いネットワーク上に拠点を形成し、拠点への都市機能の集約（公共サービスに加え、民間投資を促す）や拠点間及び拠点と地域を結ぶ公共交通ネットワークの確保（＝「コンパクト＋ネットワーク」）により、町民にとって利便性が高く、効率的な都市経営を行うための都市構造へと転換することを目指します。

白子版コンパクトシティ



都市機能を集約・誘致し今の居住地からのアクセス環境を整えることで、生活利便性の維持・向上や都市経営の適正化を図ります。

- 加えて、その拠点では町民同士、町民と来訪者との交流をハード・ソフトの両面から促進することにより、町民の生活の質や白子町を訪れる価値を将来にわたって維持向上することを目指します。

(2) 将来人口

白子町の将来人口は、これからのまちづくりを進めていくうえで確保すべき市街地の規模など、これからの土地利用のあり方に大きく影響する目標となります。

そのため、将来人口においては「白子町第5次総合計画後期基本計画」で示されている人口の見通し（目標人口）との整合を図り、本計画の目標年次である令和26（2044）年時点で約7,000人の人口規模の確保を目標として設定します。

■白子町第5次総合計画後期基本計画に示されている人口の見通し（独自推計の値）



(3) 将来都市構造

白子町が目指すまちづくりの将来像の実現に向けて、今後のまちづくりにおいて求められていること及び留意すべきことを踏まえて「これから目指すべき都市の骨格」をイメージ化した『将来都市構造』を設定します。

将来都市構造は、「拠点ゾーン」、「エリア」、「ネットワーク」の3つの要素で構成することとし、それぞれの役割を明確にしたうえで設定します。

<将来都市構造図>



凡 例

拠点ゾーン	エリア	ネットワーク	交通・その他
生活拠点ゾーン (シビックコア)	交流エリア	広域ネットワーク	有料道路
交流拠点ゾーン	沿道利用エリア(産業等)	公共交通ネットワーク	県道
コミュニティ拠点ゾーン	住宅エリア	歩行者・自転車ネットワーク (交流軸)	一般道
	住宅・農地共生エリア		河川
	平地林・屋敷林		

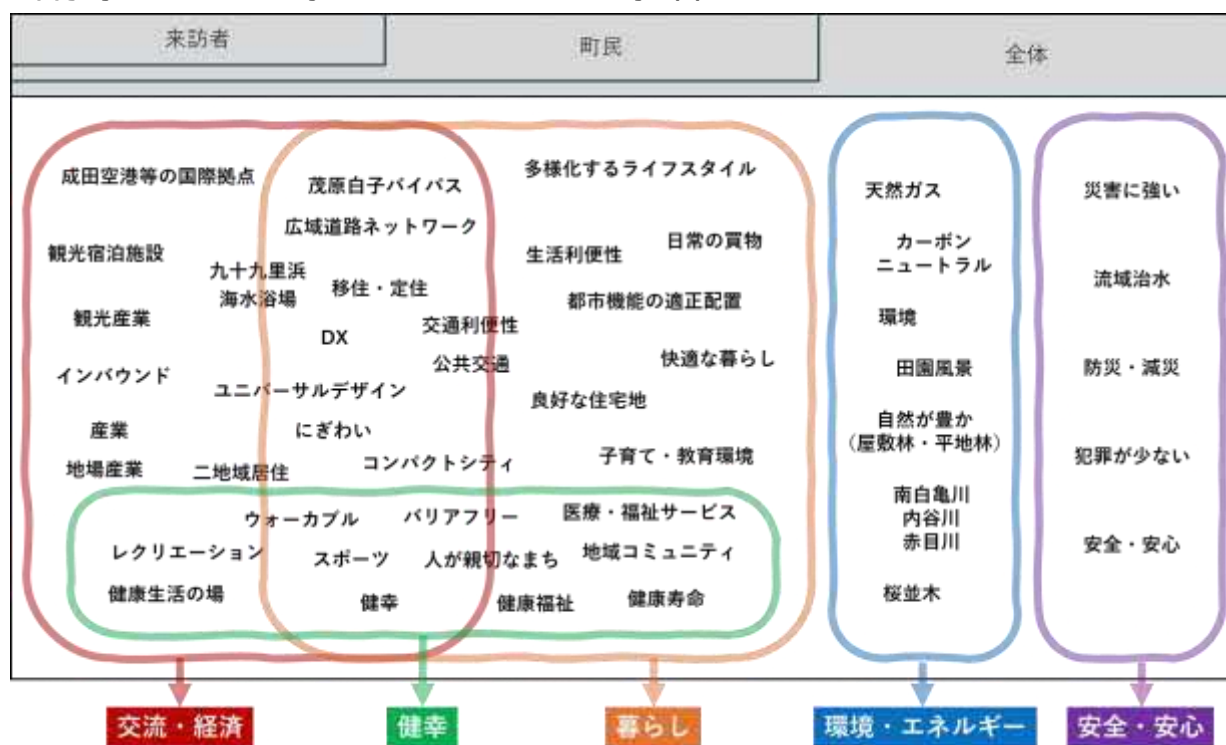
<将来都市構造を構成する要素>

構成	種類	凡例	位置	内容
拠点ゾーン	生活拠点ゾーン		・白子中学校付近	・生活に必要な機能や公益的な機能が集約され、利便性の高い拠点を形成します。 ・各拠点を結ぶ公共交通が運行され、車に過度に依存しなくても生活できる環境を整えます。
	交流拠点ゾーン		・白子中学校付近 ・白子 IC 付近 ・中里地区	・集客機能を有し、町民や来訪者の交流が生まれるような温浴施設やスポーツ施設、道の駅等の機能を誘導します。 ・交通結節機能を設け、来訪者のアクセシビリティや地域内の回遊性の向上を図ります。
	コミュニティ拠点ゾーン		・小学校やふれあいセンター周辺	・統合後の旧小学校やふれあいセンター等を活用したコミュニティスペースを設け、ここに来ればいつも誰かがいて、長居してしまうような場所を形成します。
エリア	交流エリア		・海岸沿い ・県道茂原白子バイパス沿道	・県道茂原白子バイパス沿道や海岸沿いに分布する砂浜や公園、スポーツ施設、桜並木などを町民や来訪者の交流が生まれる場所として維持・向上させていきます。
	沿道利用エリア（産業等）		・県道茂原白子バイパス沿道	・県道茂原白子バイパスの開通を見据え、戦略的な産業誘致に向けた取組を推進します。
	住宅エリア		・住宅が密集しているエリア	・沿岸部や河川沿いの住宅地では河川氾濫や津波浸水への備えを意識しつつ、引き続き良好な住環境を維持します。
	住宅・農地共生エリア		・住宅と農地が混在しているエリア	・営農環境の維持・向上を図り、白子町ならではの住宅と農地が共生した風景を維持します。
	平地林・屋敷林		・平地林、屋敷林のあるエリア	・白子町ならではの平地林や屋敷林のある風景の維持・保全を図ります。
ネットワーク	広域ネットワーク		・九十九里有料道路 ・県道茂原白子バイパス	・県道茂原白子バイパスの早期整備に向けた取組を推進します。 ・広域からのアクセシビリティや防災性の向上の観点から適正な維持管理を行います。
	公共交通ネットワーク		・バス等の公共交通により結ばれるネットワーク	・周辺の駅からのアクセス、町内の拠点間の移動を支える公共交通ネットワークを形成します。
	歩行者・自転車ネットワーク		・河川沿い ・海岸沿い ・県道茂原白子バイパス	・河川沿いや海岸沿い、県道茂原白子バイパスを徒歩や自転車で移動したくなる空間整備を行い、健康づくりや来訪者の回遊性向上を図ります。

2 将来像の実現に向けて取り組むまちづくりのテーマ

第2章「白子町のまちづくりに求められること」で整理した内容から、今後のまちづくりを検討する上でのキーワードを抽出し、そのキーワードを「来訪者、町民、全体」のターゲットに応じて配置すると、大きく5つのグループにまとめることができます。この5つのまとまりを将来像の実現に向けて取り組むべきまちづくりのテーマとして設定します。

■白子町のまちづくりに求められるキーワードから導き出される5つのまちづくりのテーマ



上記の5つのまちづくりのテーマに含まれるキーワードから、各テーマのターゲットとまちづくりの目標を以下のとおり設定します。

■まちづくりのテーマのターゲットと目標

テーマ	ターゲット	まちづくりの目標
暮らし	町民全般、特に子育て層や移住者	・移住、定住の地として選ばれるまち ・自然と農業、住宅が共生したゆとりあるまち ・子どもたちがのびのび成長できるまち
健康	町民全般、特に壮年期や元気な高齢者、フレイル層	・生涯にわたり心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち ・地域コミュニティが健全に維持されるまち
交流・経済	観光(団体客、個人客) 農水産業、観光業、製造業	・何度も訪れたくなるにぎわいと活力に満ちた魅力あるまち ・息づいてきた生業を次の世代につなぎ、新たな価値を創出するまち
環境・エネルギー	水と緑、地球温暖化対策 天然ガス等のエネルギー	・自然と共生した持続可能なまち ・脱炭素に向けたまちづくり
安全・安心	自然災害(地震・津波・洪水) 交通安全	・誰もが正しくリスクを認識して、安全に安心して過ごせるまち

※「健康」とは、一人ひとりが健康で生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことができること。また、地域において社会参加している状態をいいます。

(参考) まちづくりのテーマと白子町第5次総合計画後期基本計画の基本政策との関係性

テーマ	まちづくりの目標	白子町第5次総合計画後期 基本計画の基本政策				
		基本 政策 1	基本 政策 2	基本 政策 3	基本 政策 4	基本 政策 5
暮らし	・移住、定住の地として選ばれるまち ・自然と農業、住宅が共生したゆとりあるまち ・子どもたちがのびのび成長できるまち	○		○	○	○
健幸	・生涯にわたり心身ともに健康でいきいきと暮らせるまち ・地域コミュニティが健全に維持されるまち	○		○		
交流・経済	・何度も訪れたくなるにぎわいと活力にみちた魅力あるまち ・息づいてきた生業を次の世代につなぎ、新たな価値を創出するまち			○	○	○
環境・エネルギー	・自然と共生した持続可能なまち ・脱炭素に向けたまちづくり					○
安全・安心	・誰もが正しくリスクを認識して、安全に安心して過ごせるまち		○			

※白子町第5次総合計画後期基本計画の基本政策

【基本政策1】 健幸で安心して暮らせるまちづくり

【基本政策2】 強靱で安全な暮らしを実感できるまちづくり

【基本政策3】 豊かな心と生きる力を育むまちづくり

【基本政策4】 にぎわいと活力を創出するまちづくり

【基本政策5】 快適で利便性の高いまちづくり

【基本政策6】 町民と共に創る協働のまちづくり

⇒基本政策6は、まちづくりのテーマではなく、
本編「第6章」にて対応しています。

